

サイタマレディース探検隊「県庁の星・部長の輪！」シリーズ

第3回 埼玉県 環境部長 星野 弘志 様 平成23年2月15日取材



県庁の星シリーズ三人目にご登場いただいたのは、前回の西崎泉農林部長からの御紹介で、星野弘志環境部長です。近年、環境問題には関心が集まり、意識の高い方も増えていますので、県民にとっても知っておきたい部署ではないでしょうか。そこで、県の取り組みなどを伺うために早速訪問しました。

星野部長は、以前は産業労働部にいらっしゃり、特に新産業育成などに携わっていた関係で、お顔なじみの方も多いのではないのでしょうか。また、意外なことに、化学畑のご出身という、県庁では珍しい経歴をお持ちです。

【はじめに】

環境というと普段は市町村の方が身近でしょうから、この機会に是非環境部を知ってほしいとのことでした。あまり環境問題に関心を持っていない人でも、人は生きている限り、毎日900gのゴミを出し、250ℓの水を使い、環境に影響を与えていると言われれば、他人事ではないでしょうか？という具体的で分かりやすい説明からお話は始まりました。

一方、企業としては、環境に負荷を与えないことがウリになり、それをうまくPRしてビジネスに活かすことも必要だという経営者へのアドバイスも頂きました。広報委員には、食品製造に携わっている者も2名居りますし、参考になるお話がたくさんありそうです。

【企業と県とのかかわり方について】

環境に関して、対個人へのPRは盛んだが、企業への県からのアクションが感じられない、という経営者としての広報委員の鋭い突っ込みに対し、星野部長は「届いていないのは県の努力不足ですね」と苦笑い。環境と一口に言っても、ISO、省エネ、地産地消等々多岐に亘り、環境部だけでやれることなく、各部署の連携が必要と語られました。

自社だけで取り組めないことには、公的支援もしているそうです。ただ、あまり大袈裟に考えなくても、家庭でやれることとそれ程変わらないので、個人と企業が上手く連携して取り組んでいって欲しいし、その支援もしていきたいとのことでした。

女性は子育てや家庭生活を通じて環境を身近に感じているので、女性経営者とも上手くタッグを組んでは如何ですかとの委員からの問いかけには、「女性の感性に大いに期待したいですね」というエールを頂きました。

【企業に出来る具体的な取り組みについて】

それでは、具体的に企業が協力できる取り組みとはどのようなものがあるのでしょうか。

一例として、環境への負荷の継続的な低減を図るための計画の作成・公表を義務付けるエコアップ宣言制度があります。これはエコライフデーの事業所版とも言えるものであり、エコアップ宣言事業者は、これにより社会的評価も高まるばかりでなく、入札の際の得点がアップするなどの優遇があり、参加数は年々増えているということです。



また、皆様もうすっかりお馴染みの、マイバッグ・マイボトル運動の協力店はそれぞれ200店舗以上に広がっているそうです。

この他にも、県では様々な制度や研修により企業の環境への取り組みを支援していますが、環境保全に関する意識の醸成と行動の促進を図るため、環境賞の表彰も行っています。

企業部門では、社会貢献、環境負荷の削減・見える化、実際の商品やサービスが環境に良い、といった3点で評価し、毎年3~4社、これまで50社以上が表彰されています。

【埼玉の環境ビジョン】

埼玉県は、環境に関してこの5年で随分変化があったそうです。ディーゼル車規制はクリアされ、川の水質基準は90%近くクリアされました。ただ、一方では温暖化により緑の面積は減っています。また、埼玉は人口が増え続けているので、それだけ自然が減り、汚れを出すという、悪化に対策が追いつかない状況がお悩みのご様子でした。

県が目指す県土の姿は、都会と田舎が調和した『田園都市』だということです。ビルばかりでもなく、田畑ばかりでもなく、それぞれが共存していくことが必要であり、特に、緑と川の再生が重点施策という事です。見た目だけではなく、そこから出てきたゴミやCO2を減らすことも含め考えていきたいと、星野部長は語られました。

【結びに】

企業が如何に環境に負荷をかけない物を提供するか、県民が如何に選ぶか、まさに今、私達一人ひとりの意識が試される時が来ているということです。

星野部長は、物腰が柔らかく、穏やかにお話をされますが、言葉の端々に環境への強い思いが感じられました。時間がいくらあっても足りないほど、間口も奥行きもある問題ですが、お忙しい中、私達にも分かりやすく解説してくださいました。

環境に関する県の制度はこの他にもたくさんあります。皆様も、事業に上手く活用できると宜しいのではないかと思います。そして、私達も今すぐできることから少しでも努力していきたいものです。

